

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 2-2-1	事務事業名 庁用車維持管理事務	所管部課 総務部 管財課
----------------	--------------------	--------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	庁用車両の保管、管理(自賠責保険・重量税の支払、ガソリン・軽油・天然ガス等の価格単価決定、車検等)。省資源・省エネルギー車の積極的な導入により地球温暖化を防止する。 予算科目 020106 総務費・総務管理費・財産管理費 - 04000 庁用車維持管理費	
事業開始時期	合併前 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		20,459	32,694	17,560	20,986
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		20,459	32,694	17,560	20,986
所要人員(B)	人	1	1	1	1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,080	8,165	7,698	8,234
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	28,539	40,859	25,258	29,220
単位当たりコスト(E)=(D)/(共用車両数)	千円	2,039	2,724	1,684	1,948

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 共用車両数	実績値 台	14	15	15	15
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 共用車両数は、庁用車両数のうち管財課が管理する車両の台数。(※平成25年度現在の庁用車両数は135台)					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 共用車の年間走行距離	目標値 km	0	0	0	40,000
	実績値 km	43,867	42,491	41,799	0
二 共用車の年間ガソリン使用量	目標値 ℓ	0	0	0	4,500
	実績値 ℓ	5,286	4,988	4,628	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 自転車・徒歩での移動の推進や連絡バスの積極活用によって共用車の年間走行距離及びガソリン使用量は微減傾向となっている。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 他市の共用車の数は、府中市=10台、調布市=5台、小金井市=4台、東村山市=15台、小平市=16台となっている。西東京市は2庁舎体制のため単純な比較は難しいが、ほぼ平均と考える。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 庁用車管理を委託している自治体もある。

事業コード 2-2-1	事務事業名 庁用車維持管理事務	所管部課 総務部 管財課
----------------	--------------------	--------------------

施策コード 環2-4	施策名 地球温暖化対策の推進	施策目標 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入・活用をめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>共用車両のガソリン使用量及び年間走行距離は毎年減少の傾向となっており、環境負荷軽減に向けた取組の一定の効果が見られる。更なる向上に向けてハイブリッド車や電気自動車の購入を推進していく。</p> <p>保有車両の適正化については、利用実態を正確に把握する必要がある、庁用車の管理体制を一元化するなどの効率的な運用に向けて現行の管理体制を見直すなどの検討も行う必要があると考えている。</p> <p>また、管理自体を民間委託している自治体もあり、一定の効果があると聞いていることから、今後西東京市で一元管理した場合、どのくらいの車両数が必要であり、運用方法はどのようにするのか等について検討を進めたい。民間委託を行うことで内部事務の削減効果は予想されるが、経費の増大にもなることから、リースやレンタル等の方法など様々な手法も視野に入れ、コスト面や環境面などに配慮しつつ、業務改善に取り組む。</p> <p>長期的には本庁舎の統合整備も検討されているため、その動向も踏まえ、最適な方法による対応を進めていく。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>庁用車の維持管理事務については、車両台数の適正化と効率的な管理・運用方法への見直しが課題となっている。共用車及び各課所管の専用車の稼働の現状や他自治体が実施している民間事業者への委託化（一元管理）やリース・レンタル方式について、まずは調査を実施し、庁用車の維持管理のあり方について検討されたい。検討に際しては、見直しによる事務事業執行への影響を考慮するとともに、コストや利便性などの観点からメリット・デメリットを十分に検証する必要がある。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>庁用車については、計画的な低公害車への買替えや庁舎間連絡バスの活用など、環境負荷に配慮した取組を行ってきたところであるが、管財課で管理する全庁的な共用車両と部署毎に管理する専用車両をあわせた総合的な視点での管理が課題である。</p> <p>そのため、車両の利用実態を把握することにより、庁用車の適正台数について検討するとともに、その管理方法についても民間活力の活用を含め費用対効果の視点から検討すべきである。</p>